

全國農民組合和歌山縣聯合會

拡大支部代表者会議

全口農民組合和歌山県聯合会は、嘗て三千余の組織を有して、近畿地方屈指の大聯合であつたが昨年春の大会を頂点として急激な衰退を遂げて衰退して、その主なる原因は左の如きものであろう。

- 一、県指導部の理論的水準が低く「全農」の役割に対する認識の欠如から来る対立氣息の派生——社大党支持派とこれに反撥して觀念的左翼主義。——に依つて統制力を失つた。
- 二、県指導部長浜辺清氏、主任米田善氏が昨年五月日高争闘の最中、組織から去つて行た。
- 三、觀念的左翼の一派（大谷、田村、神谷）は昨年四月選挙、指導部の文字通りの破壊状態。
- 四、日高争闘の惨敗、

総本部は昨年十二月以来これに水再建の努力中であつたが、去る四月一日漸く年次大会に代る拡大支部代表者会議を持ち得るに到り、こゝに再建活動の一歩を踏んでわけである。